

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人不動園	代表者	河邊和敏	法人・事業所の特徴	「第2の我が家」を合言葉に、笑顔でゆったり過ごせる事業所目指している。決められたスケジュールに利用者をはめ込むのではなく、利用者個々の状態や思いに応じて、通所や訪問を柔軟に組み合わせ個別支援を提供している。
事業所名	サテライト型 いさなご荘	管理者	松本章子		

出席者	市町村職員	1人	地域住民・地域団体	6人	利用者	1人	利用者家族	1人	地域包括支援センター	1人	近隣事業所	0人	事業所職員	3人	その他	0人	合計	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	個性を強みと捉え、なおかつ組織としての足並みをそろえるため、介護職員に求められる専門性への理解と実践、その評価を毎日のミーティングで都度おこない、職員全員で課題の解決に取り組む。	毎日のミーティングを継続して行っています。介護の専門性への理解を深められるように内部・外部への研修に参加しました。深めた専門性を基に、職員全員で利用者への支援や課題について考え解決に向けて取り組みました。	基本を大切にしながら努力と前進をしていることが見てとれる評価でした。少ないスタッフのなかでよくされていることがうかがえます。これからも毎日のミーティングを大切にしてください。	介護の専門性を深める取り組みを継続しながら、それを基としたミーティングを毎日行い、質の高い介護サービスを提供します。
B. 事業所のしつらえ・環境	ご利用者にとつて落ち着ける良い環境を作るために、2か月に1度の巡視にて安全を確保する。また、しつらえをご利用者と一緒に整え安心して過ごせるようにしていく。地域の方が出入りしやすい環境とその関係性を念頭に検討し実践する。	ご利用者の安全を確保できるような環境の確認を2か月に1度行いました。また、事業所内の飾り付けを毎月ご利用者と一緒に取り組みました。地域性を理解するために地域の方とのやりとりを前年より増やすことはできましたが、出入りしやすい環境づくりは不十分に感じています。	開かれた事業所とあるが安全面には十分に配慮してほしい。玄関が開かれていくだけでなく、事業所の内面を開くことが大切だと思えます。来苑された方が迷わずにすむように立て看板などがあるとよいと感じます。	事業所の安全を確保する為の巡視を2か月に1度行います。事業所のセキュリティについて6か月に1度見直しを行います。来苑される方に向けた案内版を用意します。
C. 事業所と地域のかかわり	高齢者の生活に関することを中心に相談に応じ地域へ貢献していただける関係を民生児童委員の方々と構築・維持していく。広報誌の発行についてその頻度や内容などを検討する。※準備ができれば発行をしていく。	いさなご荘をご利用いただいている方の生活について民生児童委員との連携を継続できました。関係を保つことにつながったと感じています。広報誌の作成と発行をすることができました。	介護保険の相談窓口に来られる方々の反応から数年前と比べ事業所が認知されていることを感じます。民生児童委員を始め、地域の方との連携を続けてください。ただし、地域の行事への参加は職員の負担になりすぎないように注意しましょう。	広報誌を1年に2回発行し地域へ事業所の様子を伝えます。地域との関わりを保つことができようように民生児童委員の方々ととりを継続していきます。
D. 地域に向い本人の暮らしを支える取組み	ご利用者への支援をする上で必要となる民生児童委員や地域の方の協力を得られるように関係の構築と維持に努める。	民生委員児童委員とご利用者の心身の状態や生活の様子について情報のやりとりを行うことができました。これまで関係のなかった民生児童	民生委員児童委員と連携をすることがよくわかります。連携はご利用者が生活するうえで大切です。これからも続けてください。地域の	ご利用者の生活を支えられるように民生委員児童委員との連携を続けます。地域の総会に参加し(参加が可能か

E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の行事へ参加する。	委員と連携をすることもできました。地域の夏祭りへ屋台をだし参加させていただけました。	総会に参加してみたいかがでしょうか。	相談する)、ご利用者の生活を支えるために地域と協力できることが何か探ります。
F. 事業所の防災・災害対策	立地条件や近年の気象状況、避難訓練の結果についての情報を分析し、実効性の高いマニュアルの作成を行う。	土砂災害警戒区域に指定されていることを前提とした避難訓練に取り組みのなかで、いざなごが災害の際に立地上抱えるリスクについて情報の収集と分析も行いました。	土砂災害警戒区域に指定されているので平時から人命第一と考えていく必要があるでしょう。地域の避難訓練において車いすの操作をうまくできないことがあった。いざなごには操作方法をアドバイスしてもらおう関係りがあるかと思っております。	いざなごの立地とそれに関する災害発生時の被害を想定したマニュアルの作成と訓練に取り組みます。地域(鯖留区)の避難訓練に参加します。
	取り組みに対する意見や質問をいただいたように、議題を会議の前に準備し、その内容を明確にする。コロナ禍において可能なサロン活動とはどのようなものか・何ができるのか、感染症に関する新しい情報を入手し検討のうえで実践する。	運営推進会議にて多くの意見や質問をいただくことができ活発なやり取りを行うことができました。運営推進会議で検討する機会を設けることができました。	意見の交流が活発に行われていると思います。サロン活動は車両による送迎がネックになり難しいのではないのでしょうか。運営推進会議の委員に通いサービスの様子を見てもらうこともよいのかもしれません。地域の高齢者を後々の介護サービスへの利用に備え見学に連れてきてあげたいと思っております。	活発な交流を継続できるように、社会の状況を踏まえつつ、ご利用者の支援や事業所の運営に必要な議題を運営推進会議で検討できるようにします。高齢者の方々にいざなごを見学していただく機会をもうけます。